

2024年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☒ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（地域科学 ）
出題の意図	問1：本設問では、人文地理学分野から2問、地域社会学分野から2問、社会生態学分野から1問を出題する。本設問では、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。 問2：本設問では、人文地理学、地域社会学、社会生態学、およびその近接分野で用いられている専門用語の理解度を見る。さらに、指定された文字数でそれらの意味を専門的な見地から明確に説明する能力を見る。

2024年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つを選択して解答せよ。

1. 1990年代後半に発生したアジア通貨危機において、複数の国家で通貨危機が連続して発生する「伝染」が起こった理由について述べよ。
2. 新型コロナウイルス感染症の収束以後、日本をはじめ、世界の多くの国・地域で再び観光現象が活発化している。多数の国際観光者の訪問により、どのような功罪が生じるか、利点と問題点の両方について論述せよ。
3. 地域の自然にかかわるガバナンスを考えるとときには、地域の人びとと「自然」との相互作用の歴史を理解することが重要であるが、それはなぜか。環境社会学やその近隣分野における知見をふまえつつ、また必要に応じて事例を挙げながら、論述せよ。
4. 「公害被害地」の振興再生に向けた取り組みを調査したい。どのような視点で何を論じると、意義のある研究になるだろうか。「意義深い」と考える研究を構想し、その目的と方法（視点を含む）の概要を記述せよ。
5. 生物多様性保全研究において数理モデルを適用する意義について、事例を挙げて説明せよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 第二種特定鳥獣管理計画 | 7. ミニパブリックス |
| 2. 外来生物被害予防三原則 | 8. コロプレスマップ |
| 3. 受益圏・受苦圏論 | 9. グリーンインフラ |
| 4. マイナーサブシステム | 10. ソーシャルハウジング |
| 5. 町内会 | 11. パージェスの同心円地帯モデル |
| 6. 市民科学 | 12. Iターン移住 |